

伝道書8章 70人訳

- 1 誰が知恵を知るか？そして誰が語られたことの解釈を知るのか？
人の知恵は顔色を輝かす、しかし、恥知らずな顔は憎まれる。
- 2 王の命令を見よ、神の誓いのことばのゆえに。
- 3 急いではいけない、あなたが彼の存在から外れてしまうから： 邪悪なことがらに立つな、何故なら、彼は彼の喜ぶことを何でもするから。
- 4 王として力を持つ、誰が彼に対してあなたは何をするのかといえるのか。
- 5 命令を守るものは、邪悪なことを知らない、そして知恵あるものの心は裁きの時を知る。
- 6 何故なら、すべてのものに時とさばきがあるからである、そして人の知識は彼にとり偉大である。
- 7 何故なら、何が起きるのか知るものはない：何故なら、誰が彼に対してそれがどうなるべきか、語ることができるのか？
- 8 誰一人として霊を引き止めるため、霊の上に力を持つものはない、そして死の日には何の力もない、そして戦いの日には何も解放はない、不敬虔なものが、その信者を救うこともない。
- 9 それで私は全てを見た、そして、太陽の下で行われた全ての働きに対して心を向けた、
全てのことにおいて、人の上に人が力もち、彼を苦しめている。
- 10 そして私は不敬虔なものが聖なところから、墓に運ばれのを見た：彼らは離れ、町で賞賛された、それは彼がそう行ったからである：これも空しい。
- 11 邪悪なことを速やかに行うものなされた部分に関して何も反対がない、それゆえ、人の子の心は、みな深く、悪を行うことへと導かれる。
- 12 罪を犯すものは邪悪をその時から行う、そしてその前から長く：しかしながら私は知っている、
神を恐れるものにはよくなり、彼の前で恐れるものには、よくなることを知る。
- 13 しかし、不敬虔なものにはよくない、彼は彼の目を伸ばすことはできない、それは彼が神をその前で恐れない限り、影のようなものである。
- 14 地上になされることに空しさがある：正しい人々がいる、それに対して不敬虔なものと同じことが起きる。
そして不敬虔なものがある、それに対して正しものと同じことが起きる、私はいう、これも空しい。
- 15 それで私は快樂を賞賛する、何故なら太陽の下で、食べ、飲み、そして楽しくなる以外、人には何もよいことがないからである：
そしてこれは、彼の命の日の限り、神が太陽の下で彼に与えた彼の働きにつらなる。
- 16 私は心を定めた知恵を知るようにした、そして地の上で行われるトラブルを感じようとした、

何故なら、彼の目にとり、眠れる日はなく夜はないからである。

17 そして私は神の全てのわざを見た、それは太陽の下で行われたわざを人はさがすことができないからである、どのようなものでも人はそれを探すが、しかし彼はそれを見出すことはできない: どれほど、賢いものが知るよう語っても、彼はそれを見出すことができない、私はこれら全てを心にとめた、私の心はそれら全てを見た。